

猫白血病ウイルス (FeLV)

★検査材料は遺伝子専用としてお送りください。遺伝子以外の項目と重複している場合は必ず遺伝子用に材料を分けてください。

| 項目名 | 検査材料 | 送付方法 | 所要日数 | 検査方法 | 検査項目の説明、注意事項 |
|-----------|-------------------------------|------------|------|------|--|
| FeLV 抗原 | 血清（血漿） 胸腹水 0.1mL | 常温 △ 冷蔵 | 3日以内 | IC | <ol style="list-style-type: none"> 1. 胸腹水でも検査可能です。 2. 感染直後（1～2ヶ月間程度）は抗原が検出されないことがあります。 3. FeLV 抗原は外環境において失活しやすい傾向があるため、夏季には速達郵便や宅配便で送付してください。 4. FeLV ワクチンは本検査の結果には影響しません。 |
| FeLV 遺伝子★ | 全血（EDTA 処理） 骨髓液など 0.4mL | 常温 冷蔵 | 5日以内 | PCR | <ol style="list-style-type: none"> 1. FeLV に感染しているにもかかわらず血液中から抗原が検出できない（偽陰性）例に対して有効な検査です。 2. 感染のスクリーニングには抗原検査をご利用いただき、抗原検査で陰性であったが、偽陰性が疑える症例のための追加検査としてご利用ください。 3. FeLV は骨髓細胞に親和性が高いため、骨髓液の方が圧倒的に高い検出感度を示します。全血での遺伝子検査は抗原検査より検出感度が劣ります。 |

【FeLV 抗原検査とプロウイルス PCR 検査の比較】

| | | | |
|-----------|---|----|-----|
| | | + | - |
| プロウイルスPCR | + | 78 | 10 |
| 全血材料 | - | 47 | 137 |

※2014年獣医内科学アカデミーでの麻布大学久末先生の発表データに最新のデータを追加。

潜伏感染と非産生性感染が考えられます。

潜伏感染
持続感染からの回復後、骨髓にウイルスが潜伏するケースがある。

非産生性感染
細胞内での複製できないウイルスの存在を示している。リンパ腫、造血器疾患等の FeLV 病変の発現に関係しているケースがある。

全血での遺伝子検査は抗原検査より検出感度が劣ります。

検査ご利用について
病理検査
犬ワクチンセット
犬感染症検査
猫感染症健康セット・猫ワクチンセット
猫感染症検査
薬物検査
生化学・内分泌セット検査
生化学検査
内分泌検査
その他の検査